

壺分町東自治会懇談会実施結果

日 時 平成30年6月15日（金）18:30～19:40

場 所 壺分東公民館

参加者 44名

- ・自治会員 34名(自治会総世帯数 950 世帯)
- ・出席メンバー 坂本・藤尾・奥田・小山・山口・藤中・寺井（敬称略）7名
- ・事務局 竹本・木戸・西井 3名

配布資料 ・「燃やすごみ減量に向けて」パワーポイント資料
・「生駒市ごみ減量市民会議」チラシ
・「フードドライブ開催」パンフレット
・生駒市ごみ分別表

内 容

○「燃えるごみ減量に向けて」説明(パワーポイント)

○懇談会

グループ懇談会の前の Q&A

Q. プラスチック製容器包装の分別の話が出たが、それよりもスーパー等の事業者の過剰包装が目立ってきているが、どのように市が指導していくかということがもっと重要ではないか。

A. スーパー等の事業者さんについては、レジ袋の有料化等で協力してもらっているが、過剰包装の部分については、今後も啓発・指導等を行っていきたい。

Q. リサイクル料金については、市の費用だけでやっていない部分もあるので、その説明が必要ではないか。

A. プラスチック製容器包装については、収集運搬は市が行っているが、リサイクルについては、製造者の責任として事業者がリサイクル料金の負担をしてくれている。

①グループ

キエーロについての問い合わせ(補助を受けての購入方法等)

プラスチック製容器包装の見分け方の問い合わせ

中国語の日程表を作成してほしい。(要望)

②グループ

洗濯バサミの処理方法・・・燃えるごみで可と説明

パソコンの処理方法について・・・ノートパソコンは小型家電回収ボックスで可と説明

小型家電回収ボックスについての説明・・・南コミセンに設置、希少金属でオリンピックのメダルを作成する事業に参加している旨説明

キエーロについての説明・・・水を入れることが必要と説明

③グループ

30ℓと45ℓの間のごみ指定袋を作ってほしい。(要望)

ごみ集積所に他地区住民が間違った分別で捨てにくる場合の対応→ボランティア袋で対応

キエーロの使い方についての問い合わせ

紙おむつの出し方についての問い合わせ

④グループ

45Lを使用しており、分別しなくても処理できているので敢えて分別していない。何故分別しないといけないかが分からない。

→参加者から、意識改革が必要。分別すれば30、15Lになり、集積所に持って行くのも楽になるはず。

ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の出し方を説明し、分別すればすぐに袋は半分程度になるので試していただくようお願いした。

※いくつかのグループでは、さらに細かいグループとなって活発な意見交換がありました。

○ごみ減量市民会議アンケート結果集計（老分町東自治会）
回答者数 33名

食品ロスを減らす取り組みについてお聞きします。

1.冷蔵庫の中をチェックしていますか？

- ①消費期限をチェックしている。
15名(45.5%)
- ②消費期限の他、傷み具合もチェックしている。
12名(36.4%)
- ③チェックしていない。 6名(18.2%)
- ④無回答 0名(0.0%)

2.フードドライブを市が行っていることを知っていますか？

- ①はい 10名(30.3%)
- ②いいえ 22名(66.7%)
- ③無回答 1名(3.0%)

3.エコクッキングに心掛けていますか？

- ①はい 17名(51.5%)
- ②いいえ 13名(39.4%)
- ③無回答 3名(9.1%)

生ごみ処理器「キエーロ」を知っていますか？

- ①はい 17名(51.5%)
- ②いいえ 13名(39.4%)
- ③無回答 3名(9.1%)

